



## 百年の森林づくり事業 長尾地内佐瀨団地での 間伐が始まりました。

10月27日（火）から、森林管理協定に基づいて佐瀨団地での間伐作業が始まりました。

当日は、朝8時から美作森林組合の作業従事者など関係者が団地に集まり、今後の施業の順調な進展と安全を祈願した後、佐瀨団地の鳥越大成地区に着手いたしました。佐瀨団地では、村有林を除く63・5haの民有林のうち、約7割に当たる46・2haで森林管理契約を締結していただきました。現在は、同森林組合が自然環境に配慮しながら間伐作業を行っています。団地内の森林の状況を見ると、間伐の遅れている箇所では日照不足のため木の太りが不十分で、1本当たりの材積が少なくなっています。また、地面に下草がなく土

砂が流出しやすくなったり、鹿の食害も進んでいます。

間伐施業実施後の写真は下のとおりで、林内は明るくなっており、日照不足はかなり改善されていることがわかります。

間伐を木の生長に合わせて適正な時期に実施することは、真の通つたまん丸なまっすぐな木を育てるために大切なことです。また、災害に強い森林づくりにもつながります。

本村では、「百年の森林構想」に基づき、山林所有者・村・森林組合による森林管理協定を締結し、山林所有者の負担を無くして間伐や作業路整備を行っています。お申込みをされたい方、またはこの協定についてご質問がある方は、



間伐施業後はこんなに明るくなりました



間伐施業前は薄暗く、地面に下草もない状態です

お気軽に役場産業建設課山林係（〇八六八）七九二二一までご連絡ください。また、役場ホームページでも紹介しています。

### 兵庫・岡山県境消防連絡協議会 定例会議開催しました

去る12月4日、兵庫、岡山県の8市町村の消防団長、管轄消防本部消防長が出席した兵庫・岡山県境消防連絡協議会定例会議が西粟倉村で開催されました。

今回は、昨年8月9日の台風により兵庫岡山県境で大規模な災害が発生したことを受け、今まで以上に市町村間相互の連携、情報交換の必要性があると再認識されました。上流域で観測された多雨量の情報を提供することや消防団活動として出動できる体制づくり等慎重に審議されました。

